

小学校 第5学年「算数科」シラバス

算数科の内容構成

次の4領域です

- 数と計算
- 量と測定
- 図形
- 数量関係

5年生の目標

- 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。
- 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。
- 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする
- 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。

★評価の観点

- ①「算数への関心・意欲・態度」
算数での学習に関心を持ち、そのよさに気づいて、学習したことを意欲的に生活に生かそうとする。
→行動観察・ノート
- ②「数学的な考え方」
答えを導くために、学習したことを生かして見通しを持ち論理的に考えることができる。
→テスト、ノート、発表
- ③「数量や図形についての技能」
小数や分数の計算が確実にでき、それらを用いて図形の問題を求めたり図形の性質を調べたりすることができる。
→テスト、ワークシート、ノート
- ④「数量や図形についての知識・理解」
小数や分数の計算の意味、面積の求め方、基本的な図形の意味や性質及び数量の関係の表し方や調べ方を理解する。
→テスト、ワークシート、ノート

	学習する単元の名称	主な学習内容
前 期	1. 整数と小数	・小数第三位までの小数の表し方や十進位取り記数法による小数、整数の仕組みについて学びます。
	2. 直方体や立方体の体積	・体積の大きさを表す単位 cm^3 m^3 ml l を知り、直方体や立方体の体積の求め方を学びます。
	3. 小数のかけ算	・小数をかける意味と計算のしかた、乗数による積と被乗数の大小関係を学びます。
	4. 小数のわり算	・小数でわる意味と計算のしかた、あまりのあるときの処理のしかた、商を概数で求めるしかたを学びます。
	5. 図形の合同	・合同な図形の辺や角の性質を知り、合同な三角形・四角形のかき方を学びます。
	6. 奇数と偶数、倍数と約数	・奇数や偶数、倍数・公倍数・最小公倍数や、約数・公約数・最大公約数の意味と求め方を学びます。
	7. 単位量あたりの大きさ	・平均の意味やその求め方、単位量あたりの大きさの意味やその求め方、また、速さの表し方について学びます。
後 期	8. 分数と小数	・分数の見方や表し方及び分数と小数・整数の関係について学びます。
	9. 図形の角	・三角形の内角の和が 180° であること、多角形の内角の和は、三角形に分けて求められることを学びます。
	10. 分数のたし算とひき算	・約分・通分の意味、異分母分数の大小比較や加法・減法の計算のしかたを学びます。
	11. 四角形と三角形の面積	・平行四辺形、三角形、ひし形、台形の面積の求め方や求積公式の意味について学びます。
	12. 百分率とグラフ	・百分率について知り、円グラフや帯グラフのよみ方、かき方について学びます。
	13. 正多角形と円周の長さ	・円周を求める公式を作る過程を知り、公式を正しく使うことを学びます。正多角形の性質を学びます。
	14. 分数のかけ算とわり算	・分数×整数のかけ算の意味と計算の仕方を学びます。 ・分数÷整数のわり算の意味と計算の仕方を学びます。
	15. 角柱と円柱	・角柱・円柱の定義を知り、見取り図や展開図のかき方について学びます。
	16. 5年のまとめ	・5年の学習のまとめをします。